

スポンMジョイント® 施工手順

JISポリ管用

注) 分解せずに接合して下さい。

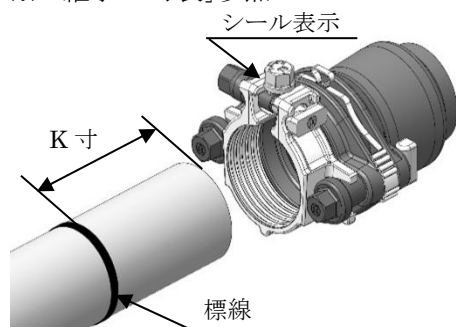


①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

- ・パイプ切断のカエリは取り除いてください。
- ・滑剤の塗布は不要です。

※「継手 K 寸表」参照



□継手 K 寸表

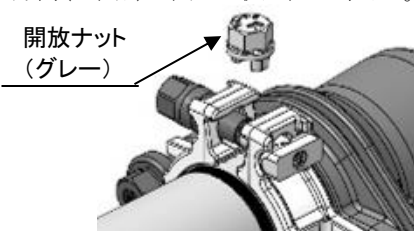
呼び径	パイプ挿入量 K (mm)	
40	90	+5 -0
50	120	
65		
75	125	
100	140	+10 -0
125	145	
150	155	
200	185	

継手: MVD、MVA、MVC、
MVD-T、MVキャップなど

⑤開放ナット取り外し

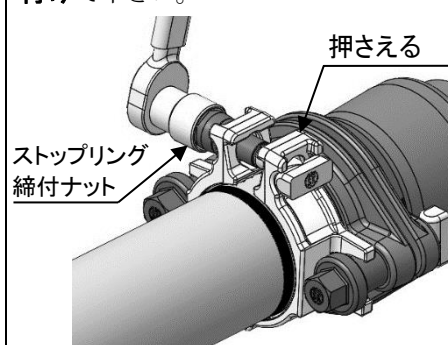
開放ナットを取り外します。

・開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向(左回り)に回して取り外して下さい。



⑥ストップリング仮締め

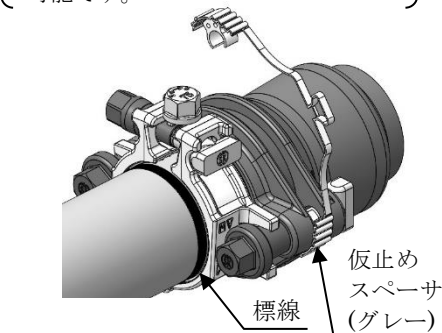
ストップリングを標線に合わせた状態で、ストップリング上部を押さえながら、ストップリング締付ナットを締め付けて下さい。



②パイプ挿入

分解せずに継手を**標線**まで入れ、**仮止めスペーサ(グレー)**を取り外します。

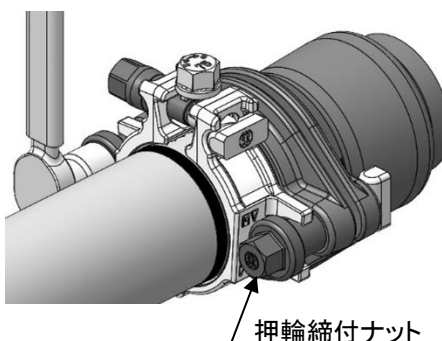
- ・仮止めスペーサが外れにくい場合は、押輪締付ナットを少し緩めて下さい。
- ・仮止めスペーサを先に外しても施工は可能です。



④押輪本締め

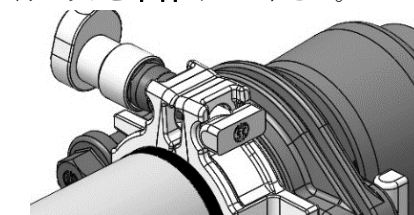
押輪締付ナットを、数回にわたり均等に本締めして下さい。

※「標準締付トルク表」参照



⑦ストップリング本締め

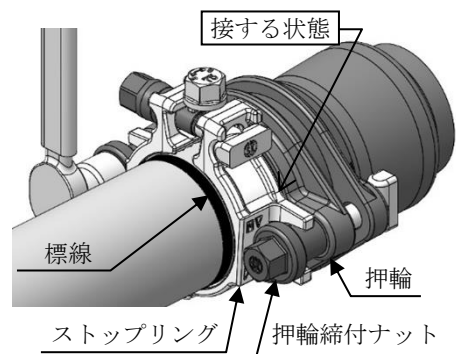
ストップリングの先端が当たるまで締付ナットを本締めして下さい。



③パイプ仮固定

ストップリングは押輪と接した状態で**標線**に合せます。

パイプが仮固定するまで、押輪締付ナットを軽く締めて下さい。



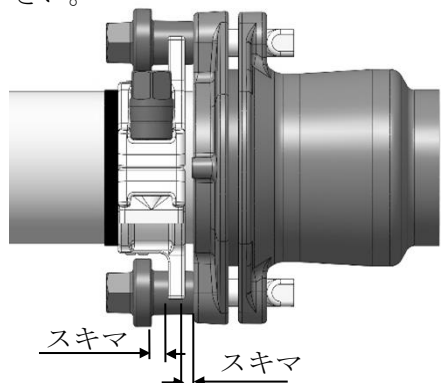
□標準締付トルク表 (N・m)

呼び径	押輪	ストップリング
40	25～30	ストップリング 先端が 当たるまで 締めて下さい。
50	50～60	
65		
75		
100		
125	60～70	
150		
200	80～90	

※太字: 下限値

⑧施工完了

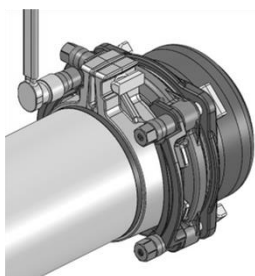
ストップリング両端に「スキマ」が保たれていることを確認して下さい。



開放ナット使用手順

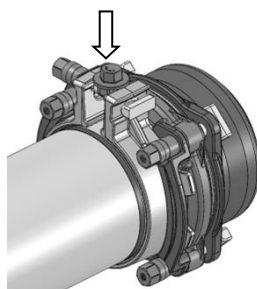
①押輪締付ナットを緩める

押輪を緩めて下さい。



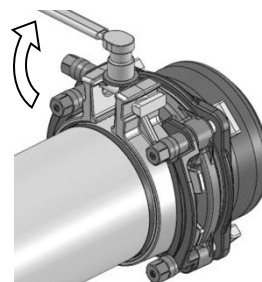
③開放ナットのセット

ストップリング先端のスキマに開放ナットを挿入して下さい。



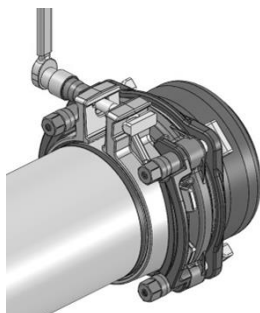
④開放ナットの取り付け

開放ナットを「O」の方向（右回り）に 90° 回す。



②ストップリングを緩める

ストップリングを分解しない程度まで緩めて下さい。



開放ナットサイズ

呼び径	ナットサイズ	対辺
40	M10	17
50・65	M16	24
75	M16	24
100	M16	24
125	M16	24
150	M16	24
200	M20	30

⑤パイプの開放

ストップリングが開放されますのでパイプを外して下さい。
（開放ナットが外れることがあるので注意して下さい。）

